



令和5年度砂防工事安全施工管理技術研究発表会を開催！

令和5年12月13日(水)、砂防工事における安全施工管理技術の向上を図るため「砂防工事安全施工管理技術研究発表会」を開催しました。参加者は職員に加え、建設会社、コンサルタントなど会場とオンライン参加の聴講者を加えると約80名が参加しました。はじめに、**広島労働局の森岡地方産業安全専門官様より「建設業における労働災害防止対策」の講話**をいただき、その後、**9名の施工者の皆様から安全対策や生産性向上に関する取り組みについて発表**していただきました。各社ともに生産性向上を推進することで、作業員が取り組みやすい環境づくりにも配慮していました。

広島労働局より労働災害防止対策の講話



近年の労働災害発生状況や分析結果、防止対策などを分かりやすく説明いただきました。

発表者の皆様



発表内容	企業名	発表者名
① 安全かつ施工合理性を重視した土砂運搬方法の工夫について	(株)伏光組	天童 正樹
② InsourcingによるDXを活用した安全対策について	(株)砂原組	丹田 和範
③ 安全対策としての使用機械の選定について	大之木建設(株)	山口 拓人
④ 深江A地区急傾斜地崩壊対策工事におけるICT活用による安全対策について	アイワ産業(株)	温品 信行
⑤ 砂防関係工事における働き方改革の取り組みについて	(株)伏光組	佐藤 幸治
⑥ 労働環境の改善について	(株)栗本	堀尾 謙太
⑦ 砂防関係工事における働き方改革の取り組み	山陽工業(株)	梅田 英司
⑧ 砂防工事を通じて魅力ある建設業を目指して	宮川興業(株)	宮地 琢哉 佐々木 祥志
⑨ 生産性向上と担い手確保のための取組について	(株)増岡組	舛田 純

「ターンテーブル+不整地運搬車」の採用で、リスク低減を図った。



(株)伏光組 天童氏

「安全施工技術、安全対策の創意工夫」「働き方改革の取り組み」の2テーマで発表いただきました。「3Dデータ活用と技術力の関係」の質問に対し、「現場経験の浅い若手技術者は3Dデータから経験を積む方が技術力向上に繋がる」という新たな視点からの回答がありました。



会場からの質問

急傾斜地崩壊対策工事においてICT建機(MC)での掘削を実施。



アイワ産業(株) 温品氏

デバイスを活用した書類チェック、重機や監視カメラにAIを搭載し安全管理を図った。



(株)栗本 堀尾氏

自律四足歩行ロボットのシステム改良や仮設ハウスの改良を実施。



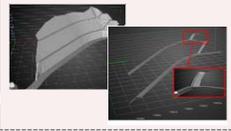
宮川興業(株) 宮地・佐々木氏

会社内でDXの内製化を進め作業計画の立案等を効率的に実施。



(株)砂原組 丹田氏

小規模土工にも3次元データの分割でICT建機側の処理能力UPを図った。



(株)伏光組 佐藤氏

職員のDX技術向上のため、サポート企業の現地講習を実施。



山陽工業(株) 梅田氏

法面部の出来形管理は地上型LS、転石検収などは3D簡易スキャナを採用。



(株)増岡組 舛田氏

急勾配箇所ので採掘に適切な重機配置を行い省力化を図った。



大之木建設(株) 山口氏

2024年から建設業で始まる残業上限規制に向け労働環境改善が急務になっており、「安全対策」に加え「働き方改革」「生産性向上」についても、各社が工夫を凝らし懸命に取り組んでいる状況が感じられる発表会となった。